



2025年1月31日

各位

会社名 東北電力株式会社  
代表者名 取締役社長 社長執行役員 樋口 康二郎  
(コード番号 9506 東証プライム)  
問合せ先 ビジネスサポート本部  
経理部予算課長 小原 貴哉  
総務部法務室株式課長 中川 真志  
(TEL. 022-225-2111)

## 業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

2024年4月30日に公表しておりました2025年3月期通期の連結業績予想および2025年3月期の配当予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,830,000	220,000	190,000	130,000	259.95
今回修正予想 (B)	2,630,000	230,000	200,000	140,000	279.91
増減額 (B - A)	△200,000	10,000	10,000	10,000	
増減率 (%)	△7.1	4.5	5.3	7.7	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	2,817,813	322,263	291,940	226,102	452.13

#### (2) 修正の理由

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、足元の燃料価格等を踏まえ、2024年4月30日に公表した売上高および各利益の見通しを修正いたしました。

連結業績予想における売上高は、燃料費調整額の減少や卸売収入の減少などにより、前回公表値から2,000億円減少の2兆6,300億円程度となる見通しです。

経常利益は、燃料価格が低位に推移し、燃料費調整制度のタイムラグ影響が差損から差益に改善したことや効率化の深掘りなどにより、前回公表値から100億円増加の2,000億円程度となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前回公表値から100億円増加の1,400億円程度となる見通しです。

【主要諸元】

項 目		2025 年 3 月期		(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)
		今回修正予想	前回発表予想	
販売電力量 (億 kWh)	小売	608 程度	613 程度	641
	卸売	179 程度	214 程度	151
	合計	787 程度	827 程度	792
原油 C I F 価格 (ドル/バーレル)		83 程度	90 程度	86
為替レート (円/ドル)		153 程度	150 程度	145
原子力設備利用率 (%)		9.8 程度	14.8 程度	—

【収支変動影響額】

(単位：億円)

項 目	通 期
原油 C I F 価格 (1 ドル/バーレル)	21 程度
為替レート (1 円/ドル)	34 程度
原子力設備利用率 (1%)	28 程度

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想		15円00銭	30円00銭
今回修正予想		20円00銭	35円00銭
当期実績	15円00銭		
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	5円00銭	10円00銭	15円00銭

### (2) 修正の理由

当社は、利益配分については、安定的な配当を行うことを基本に、当年度の業績や中長期的な収支見通しなどを総合的に勘案し決定することを基本的な方針としております。

また、2025年3月期以降の配当については、これまでの基本的な方針に加え、財務基盤の回復とバランスを図る観点から、当面はDOE（株主資本配当率）2%を目安としながら、総合的に判断していくこととしております。

そうしたなか、当年度においては、2024年12月26日に女川原子力発電所2号機が営業運転再開を果たし、安定的に運転を継続している状況であることに加え、2025年3月期の業績については、燃料費調整制度のタイムラグ影響が差損から差益に改善したことや効率化の深掘りなどにより、連結経常利益は、前回公表値から100億円増加の2,000億円程度となる見通しであり、当社の最優先課題である「財務基盤の早期回復」についても、利益の積み上げ・拡大により、当初想定を上回る見通しとなっており、着実に進捗しております。

このような状況を総合的に勘案し、2025年3月期の期末配当予想につきましては、当初予定の「1株当たり15円」から5円増配し、「1株当たり20円（中間配当15円と合わせた年間配当は35円）」に修正させていただくことといたしました。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上